

—スタッフ紹介—

役 職	スタッフ名
部 長	萩野 惠三
部 長	児玉 芳季
医 長	佐々木 有見子
医 員	宮井 晴加
医 員	松浦 昌三

—概要—

2019年はスタッフの異動があった。和歌山県立医大泌尿器科学教室へ小池医師が助教として異動され、代わりに松浦医師を迎えた。佐々木医師は2013年7月から産休後育休を継続していたが、2019年4月から6年9か月ぶりに職場復帰し、時短勤務で、主に週2回の外来診療を担当することとなった。

2019年の泌尿器科外来患者数はのべ13,270人/年、年間新患者数は914人/年であった。入院患者数は566名/年（内訳：男性426名 女性140名）であった。泌尿器科の病棟ベッド数は2015年から1床増えて、18床である。当科で2019年に施行した手術の詳細は以下の表を参考にいただきたい。主な手術は膀胱全摘除術＋回腸導管造設術6件、腹腔鏡手術（副腎、腎、腎尿管など）29件、経尿道的膀胱腫瘍切除術（TUR-BT）139件、経尿道的尿管碎石術（TUL）98件、経皮的腎碎石術（PNL）10件、経尿道的レーザー前立腺核出術（HoLEP）6件などであった。

泉州地域における泌尿器科診療の基幹施設の一つとして、数多くの手術実績を地道に積み重ねていくことにより、地域社会に貢献していきたいと考える。

—実績—

年間手術総計：429件（ESWL除く）

開創手術：82件

腹腔鏡手術：29件

尿路内視鏡手術：315件

手術名	件数
精巣摘除術	2
高位精巣摘除術	4
精巣固定術	11
精巣水腫・精液嚢根治術	11
精管切断術	1
包茎手術	10
女子尿失禁根治術	0
PNL	10
TUL	98
膀胱碎石術	17
TUR-P/HoLEP	13/6
TUR-Bt	139
腎盂尿管鏡検査	14
ESWL	69
腹腔鏡下尿管摘出術	4
腹腔鏡下内精巣静脈結紮術	1
腹腔鏡補助尿管新吻合術	1
後腹膜リンパ節郭清術	1
閉鎖リンパ節郭清術	1

手術名	件数
過酸化水素水注入	2
尿管尿管吻合術	2
尿管ステント留置術	5
経尿道的尿管拡張術	2
尿管部分切除術	2
創部縫合術	1
内尿道切開術	2
尿道カルンクル切除術	2
傍尿道嚢腫切除術	1
精巣修復術	1
会陰部腫瘍切除術	1
陰茎全摘除術	1
TUR-Ut	1
TUEC	5
尖圭コンジローマ焼灼術	1
膀胱憩室焼灼術	1
膀胱部分切除術	2
膀胱破裂閉鎖術	1
腎瘻造設術	1
膀胱瘻造設術	2

—今年度の成果と反省点—

当科の入院患者数は2008年から2015年まで8年連続で入院患者数の増加傾向が続いた。同時に医師2名の交代が重なった2016年はいったん減少に転じた。しかし2017年は636名とすぐに2015年並みの入院患者数（2015年は636名）に回復した。2018年は563名と前年比87名もの減少であったが、2019年の年間入院患者数は568名と入院患者の減少傾向に歯止めがかかった。

—来年度への抱負—

2019年3月、22年ぶりに体外衝撃波結石破碎装置がドルニエ社製Delta IIに更新された。2019年4月泌尿器科外来に超音波診断装置 キヤノンメディカルシステムズ社製Xario100 Platinum が2018年に続いて2台目が導入された。2019年9月高出力ホルミウム・ヤグレーザー60W日本ルミナス社Versa Pulseの導入に伴い、2019年9月から経尿道的レーザー前立腺核出術（HoLEP）が開始された。また2020年3月には主に経皮的腎碎石術（PNL）で使用されるリソクラスト ポストンサイエンティフィック社 リソクラスト2が導入されPNL手術における手術リスクが著明軽減された。

今後も引き続き大阪府南部泉州地域における泌尿器科の医療需要にしっかりと応えることで日本泌尿器科学会拠点施設としての役割を果たしていきたい。またこのためにロボット手術支援システムの導入を病院に強く望みたい。

手術名	開創	腹腔鏡	ロボット
副腎摘除術	0	3	0
単純腎摘除術	1	1	0
根治的腎摘除術	3	8	0
腎部分切除術	0	6	0
腎盂形成術	0	0	0
腎尿管全摘除術	1	5	0
尿管膀胱新吻合術	4	0	0
膀胱全摘除術	8	0	0
尿管皮膚瘻造設術	2	0	0
回腸導管造設術	6	0	0
前立腺全摘除術	2	0	0